

令和4年度 第1回学校運営協議会

令和4年6月29日（水）（授業見学・協議）

能勢分校会議室において、第1回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員6名、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。令和4年度1回目の運営協議会では、授業見学をしていただいた後、委員、事務局の紹介などを行い、今年度の能勢分校の課題や方向性について議論しました。

内 容

1. 授業見学 13:10~15:00
2. 運営協議会 15:25~17:06
 - ① 准校長挨拶
 - ② 委員紹介及び事務局員自己紹介
 - ③ 実施要項、意見書について
 - ④ 会長・副会長の選出（互選）
 - ⑤ 協議事項
 - ・ 授業見学について
 - ・ 学校経営計画及び学校評価について
 - ・ 本校課題「各系列の取組等」について
 - ・ その他
 - ⑥ 連絡
 - 次回、第2回の開催 令和4年12月7日予定
 - 第3回の開催 令和5年3月8日予定

委員からの意見等

【授業見学】

- ・ 少人数教育の良さが現れている。
- ・ 教員が生徒に丁寧に対応している様子（距離感の近さ、目の届いた対応）が良い。
- ・ 普通教室でパソコン（ChromeBook）を使用した授業もあり、教室が限定されない点がいまの時代に合っていると感じた。ノートパソコン使用の様子が大学の授業のようだ。
- ・ 生徒と教員の距離が近い。生徒同士も積極的にディスカッションを行い、双方向の授業がうまく展開されている。

【協 議】

- ・ 豊中本校の教育資源をもっと活用できないか。
- ・ 能勢分校を進学先として選択しない中学生や保護者の意見を集められないか。
- ・ 大学進学がすべてではないが、能勢分校では進学に対する支援が少ない、といった認識を持たれないことが課題では。

- ・理想とする教育を実現しやすい小規模校だからこそ、教員自身が研究時間を確保して教育内容を向上することで、よりいっそう生徒の力を引き上げてほしい。
- ・予備校のような進学校をめざすよりも、生徒が高校生らしく生きることができる能勢分校の姿勢は引き続き守ってほしい。
- ・進学を含めた進路状況を、学校として意識する必要がある。
- ・生徒が主体的に取り組んでいる。「自分で進めていく力」をさらに強めてほしい。
- ・様々な現場の話聞くことは社会に出る生徒にとってミニ社会経験ともいえる。良い経験を積めることを期待する。
- ・能勢分校の教育内容の質は高い。また、生徒は前に立ち発言できる力も付いてきている。SDGsなど、現役の大学生でもうまく説明できないことを学んでいる。